

## はじめに

本県は、南北約 600 キロメートルに及ぶ広大な地域に、国内で初めて国立公園に指定された霧島、世界自然遺産である屋久島や奄美大島・徳之島、ラムサール条約湿地に登録されている藺牟田池、屋久島永田浜及び出水ツルの越冬地など、多様で豊かな自然を有しております。

このふるさと鹿児島のかげがえのない素晴らしい自然環境を守り育て、将来の世代にしっかりと継承していくことは、現代に生きる私たちの使命であると考えております。

このため、県におきましては、かごしま未来創造ビジョン（令和 4 年 3 月改定）において、「脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生」を施策展開の基本方向の 1 つに掲げ、県環境基本計画（令和 3 年 3 月改定）に定めた 4 つの基本目標（①自然と共生する地域社会づくり、②地球環境を守る脱炭素社会づくり、③再生可能エネルギーを活用した地域づくり、④環境負荷が低減される循環型社会の形成）に向けて、各般の施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

まず、①自然と共生する地域社会づくりに向けましては、生物多様性に関する新たな世界目標や生物多様性国家戦略等を踏まえ、令和 6 年 3 月に生物多様性鹿児島県戦略を改定し、世界に先駆けて「自然との共生」を打ち出した本県の先駆的な取組を更に進め、ネイチャーポジティブを実現していくこととしました。

また、世界自然遺産登録 30 周年を迎えた屋久島について、その魅力を改めて発信し、今後の持続可能な島づくりに向けた課題・取組を考える機会とすることを目的に、屋久島世界自然遺産登録 30 周年記念シンポジウムを開催しました。

次に、②地球環境を守る脱炭素社会づくりに向けましては、鹿児島県地球温暖化対策実行計画（令和 5 年 3 月改定）に基づき、2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするカーボンニュートラルの実現に取り組んでおり、令和 6 年 3 月には県の地域気候変動適応計画を改定し、本県における気候変動の影響の整理や適応策の見直しを行い、農林水産業や自然生態系など各分野における適応策を推進しております。

また、③再生可能エネルギーを活用した地域づくりに向けましては、令和 5 年 3 月に策定した「鹿児島県再生可能エネルギー導入ビジョン 2023」に基づき、地域との共生や環境に配慮しつつ本県の多様で豊かな自然を活用することなどを基本として、再生可能エネルギーの導入を促進しております。

④環境負荷が低減される循環型社会の形成に向けましては、県民及び事業者の皆様のマイバッグの利用や食品の食べきり・使いきり、リサイクル製品の使用等の促進に努めながら、食品ロスの削減や廃棄物の排出抑制・減量化に取り組んでいるところです。

今後とも、「県民の皆様と一緒に鹿児島の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」自然環境の保全及び適正利用、脱炭素社会の形成等に向けた取組を積極的に推進してまいります。

この白書は、令和 5 年度における本県の環境の現状や環境関係施策の概要及び成果を取りまとめたものであります。県民及び事業者の皆様の環境に対する関心と理解が一層深まり、環境保全の更なる取組の参考となれば幸甚です。

鹿児島県知事 塩田 康一